

## (仮称) 到津の森公園の管理運営について

(仮称) 到津の森公園は、来年4月の開園に向け着々と工事も進んでおり、これまでに、キリンやシマウマの入る「草原の世界」、チンパンジー等が入る「林床の世界」の一部など約60%の施設が既に完成している。

残すは、ゾウ・トラの飼育舎、管理棟、立体駐車場などで、園内の主要施設の工事は12月末までに終了する予定である。

また、今回、運営主体、園長が決まったことで、10月から新たな運営体制で飼育を開始することとなる。

残る主要な案件は入園料の決定であり、12月議会へ諮る予定で検討を進めている

- 1 運営主体
- 2 飼育体制
  - (1) 園長
  - (2) 飼育職員
- 3 開園時期
- 4 料金
- 5 (仮称) 到津の森公園専門会議
- 6 整備工事の状況

問い合わせ先

建設局到津の森公園整備室 担当：花田、日野

電話 582-3237 FAX 582-3114

## 運営主体

**(財)北九州市都市整備公社とする。**

(仮称)「到津の森公園」の運営主体については、「市民が支える公園」として市民の参加、協力、理解が得られやすく、かつ、効率的な管理運営を行える方法として、民間色の強い第三セクター又は(財)北九州市都市整備公社による管理運営を検討してきた。

「公の施設」の民間団体による管理運営には法令上の制限があることから、「グリーンパーク」や「山田緑地」など市の有料公園の管理運営に実績があり、類似施設である「ひびき動物ワールド」の管理運営も行っている(財)北九州市都市整備公社を運営主体とすることに決定した。

< 運営主体を北九州市都市整備公社とする理由 >

- 1 (仮称)到津の森公園は、地方自治法にいう「公の施設」であり、その管理を委託できるのは、地方自治法の規定により、公共団体又は市が2分の1以上出資している法人等に限られる。
- 2 (仮称)到津の森公園の管理運営は、動物飼育だけでなく、到津の森を含む有料公園としての管理を併せて行わなければならない。
- 3 都市整備公社は、「グリーンパーク」や「山田緑地」など市の有料公園の管理運営に実績があり、類似施設である「ひびき動物ワールド」の管理運営も行っていることから、動物の管理(動物の譲渡・交換、エサの購入)等の面でも効率的な運営が可能となる。
- 4 都市整備公社が管理運営を行っている上記の施設に(仮称)「到津の森公園」が加われば、施設間のネットワークを組むことで、互いに補完することができる上、連携して事業を行っていくことにより、それぞれの施設の特色を生かしながら、これまで以上に幅のある事業の展開が可能となる。

## 飼育体制

10月1日から、園長、飼育職員を公社職員として採用し、飼育業務を公社に委託する。

### 1 園長

#### 岩野 俊郎（獣医師、前津遊園園長）

昭和23年8月5日生 年齢：53才 性別：男

新公園の園長としては、経営面の知識・経験を持ち、猛獣や貴重な動物を多数飼育している飼育部門を管理するための専門知識を有する人が望ましいということで人選を進めてきた。

その結果、昭和47年（1972年）から津遊園に勤務し、現在の飼育動物を熟知しており、また、閉園時の園長として厳しい経営状況で園を運営した経験がある、前津遊園園長 岩野俊郎氏を（仮称）津の森公園園長とすることとした。

### 2 飼育職員

（仮称）津の森公園では、猛獣や貴重な動物を多数飼育しており、特にゾウやチンパンジーなどは、飼育員が変わるとストレスを感じ、攻撃性を示すことがあるので、慣れない飼育員では事故の起きる可能性が高くなる。

また、新しい獣舎に動物が慣れるまで、これまで担当していた経験豊富な飼育員が注意深く安全管理や健康管理を行う必要があるため、津遊園で飼育に携わっていた西鉄職員の飼育員2名についても、新公園で飼育員の核として働いてもらうこととした。

## 開園時期

平成14年4月中旬を予定。

整備工事終了後、動物達や飼育員が新しい獣舎に慣れるための期間が必要であり、更に来園者を迎えるための従業員教育を行い、4月中旬に開園する予定。

### <スケジュール>

- ・平成13年12月末 園内の主要施設の整備工事完了予定
- ・平成14年1月～3月 新獣舎への慣らし期間
- ・平成14年4月1日～ 従業員教育

## 料 金

(仮称) 到津の森公園の入園料及び駐車料については、これらの収入が運営のための大きな柱であることをふまえ、到津遊園の料金を基本として、新しい公園の整備水準、他の動物園や市の類似施設の入園料や駐車料との均衡を考慮しながら、適正な料金となるよう検討中であり、12月議会に諮る予定である。

## (仮称) 到津の森公園専門会議

(仮称) 到津の森公園の施設整備・運営などに関し、市長に対して意見を述べる機関として専門会議を設置し、事務局は建設局内に置く。

### 1 設置の趣旨

(仮称) 到津の森公園の基本理念である「市民と自然とを結ぶ窓口」を開園後も推進していくとともに、健全な経営の推進について専門的な視点から検討するため、学識経験者、関係団体などの構成員からなる「(仮称) 到津の森公園専門会議」を設置する。

### 2 検討事項

- ・施設整備に関すること
- ・運営に関すること
- ・動物の収集、飼育、展示に関すること
- ・動植物に関する調査研究に関すること
- ・動物愛護思想の普及及び環境教育の普及活動に関すること

### 3 委員(案)

下記の2名が現在内定しており、他の委員については今後決定する。

- ・小野 勇一 北九州市立自然史博物館館長  
北九州市顧問  
九州大学名誉教授
- ・斉藤 勝 財団法人東京動物園協会理事長

### 4 事務局

建設局到津の森公園整備室

## 整備工事の状況

平成12年8月より整備工事に着手し、動物を順次移動しながら、また、動物の健康管理に配慮しながら工事を進めてきた。

工事は計画通りに進んでおり、現在以下の施設が完了している。

### 1 草原の世界

サバナ舎(キリン、シマウマ混合舎 282.99㎡)

ライオン舎(77.97㎡)

パタスモンキー舎(24.78㎡)

### 2 林床の世界

チンパンジー舎(83.58㎡)

サル混合舎1(78.52㎡)

マンドリル舎(54.73㎡)

既に、キリン、シマウマ、ライオン、パタスモンキー、チンパンジー、マンドリル、ワオキツネザルは新しい動物舎に移っている。

### <今後の予定>

- 1 樹冠の世界デッキ園路は9月、ゾウ・トラ舎、管理棟等の園内の主要施設は12月末までに完了。
- 2 その後、旧ゾウ舎の取り壊し、跡地の整備、入口等の整備を行う。
- 3 (仮称) 到津の森公園北側の駐車場整備に伴う進入路の整備を福岡県が施工することとなり、この工事も近日中に着工の予定。